

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公開番号】特開2002-176354(P2002-176354A)

【公開日】平成14年6月21日(2002.6.21)

【出願番号】特願2000-374000(P2000-374000)

【国際特許分類第7版】

H 03K 23/54

G 06F 1/24

H 03K 5/19

【F I】

H 03K 23/54 Z

H 03K 5/19 T

G 06F 1/00 351

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】 前記第1の論理値は、1であり、

前記縮退回路は、

前記第1部分の保持データに対応する入力信号を受けるOR回路を有し、

前記一致検出回路は、

前記OR回路の出力と前記第1の保持回路の出力とが一致したときに前記リセット信号を出力するエクスクルーシブNOR回路を有する、請求項4に記載の半導体装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

請求項5に記載の半導体装置は、請求項4に記載の半導体装置の構成に加えて、第1の論理値は、1であり、縮退回路は、第1部分の保持データに対応する入力信号を受けるOR回路を有し、一致検出回路は、OR回路の出力と第1の保持回路の出力とが一致したときにリセット信号を出力するエクスクルーシブNOR回路を有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0073】

すなわち、図5で示したリセット回路16bの構成は、フリップフロップの出力を4本ずつに分けてそれぞれOR回路22、24で受けている。そしてOR回路22、24の出力が一致するか否かをエクスクルーシブNOR回路26でチェックしていたが、フリップフロップの出力は必ずしも4対4に分割してそれぞれOR回路で受ける必要はない。